

明るい政治・正しい政治

笑顔あふれる楽しい家庭

今年は家族や仲間と花見に行きましたか？お酒を飲みすぎませんでしたか？
色々な事情で花見が出来なかった人もいると思いますが、みんなで前を向いて
明るい社会を目指しましょう。

もう止めてほしい 自民党の
デタラメ議員・デタラメ政治

のらりくらりの国会答弁、キックバックの裏金事件、エツフェル女性局、過激露出のダンスショー青年局。こんな議員が政治をする資格があるのでしょうか？人間失格です。

大分市には、大型弾薬庫とミサイル配備。戦闘機を造って他国への輸出。軍備増強。そのための大幅増税も計画されています。国際紛争では、撃てば撃ち返される。国民の犠牲は確実です。

こんなデタラメな議員に政治を任せることは出来ません。次の選挙では、キッチリと私たちの政治を取り戻しましょう。

—— よしはじめよう 吉川はじめ選挙区での勝利を！ ——

会員1000人達成総会にしましょう！

今の自公政権には、政治を任せておけません。金持ちや大企業のためだけの政策を止めさせ、方向転換を実現しましょう。

市民のため、労働者のため、中小企業・農林水産業のために政治の向きを変えさせましょう。まず、給料アップが必要です。年金も上げなければなりません。食料自給率を上げるために二次産業の振興が必要です。そのためには、今の自公政治では方向が違います。吉川はじめを中心とした市民政治、平和政治が必要です。いつ選挙があってもいいように準備をすすめましょう。そのためには、5月18日に総合後援会の定期総会を予定していますが、その総会を会員1000人達成総会にしたいと思っています。あと50人です。会員みなさんが一人一人の仲間を誘い合えば実現できないことはありません。新しい政治を実現する第一歩です。



3/31(日)



佐伯桜まつり 3/31(日)

勝負の秋(トキ)

この原稿を執筆しているのは、花見シーズン。そんな時に秋?と思われるかもしれません。

「秋」を辞書で引くと当然、季節の秋が出てきます。ただ、「秋」という漢字は「トキ」とも読みます。今から1800年前の中国三國時代、蜀の名軍師であった諸葛亮孔明の「出師(スイシ)の表」の一節「危急存亡の秋(トキ)」が出典です。そこから転じて「大切な時機」「重大な時機」という意味を持つそうです。

国会は、昨秋以降、政治とカネの問題一色。派閥パーティーを舞台に、多額の裏金が自民党議員に流れていた今回の問題は、政治不信をさらに深めました。

秋までには、解散総選挙が行われる可能性大です。政治を国民の手に取り戻す勝負の秋(トキ)です。

吉川 はじめ



地区紹介

《臼杵地区》

目標 300人!

吉川はじめ議員のおひざ元の臼杵地区後援会は、総勢268人の会員がいます。



1/7(日)

臼杵地区後援会では、会報やお便りをみんなで集まって、情報交換などをしながらワイワイ楽しく作業をしています。また、その後は有志で懇親会などを行いながら、親睦を深めています。

吉川議員の地元後援会としては、前回の選挙で、僅差での惜敗に大変悔しい思いをしました。次の選挙では、何としても選挙区での勝利を勝ち取るため、朝の辻立ちに参加して有権者のみなさんに訴えています。

臼杵地区後援会 会長 高橋 肇



1/22(月)

私の趣味

贅沢な生活

臼杵地区後援会員

長野 忠正

退職して今の生活は、体力作りを兼ねての山菜採りとジビエ料理を食べることが何よりの贅沢と思っています。一月は露のとう、三〜四月は孟宗竹・タラの芽・椎茸、五月は淡竹(ハチク)、六月は紫竹(シチク) 真竹、冬は猪、夏は鹿が旨いです。

特に猪肉・鹿肉は臼杵では買うことが出来ず、退職後二〜三年は佐伯の宇目まで買いに行ったものです。しかし、今は吉川後援会の見河役員から年数回頂き、家族で楽しんでいきます。決してジビエ目当てで吉川後援会役員をしている訳ではありませんが：

ある日頂いた猪肉の皮の部分が硬いので圧力鍋ですき焼き風に料理し義父(102歳)に食べてもらったら、柔らかくて美味しいので家に持つて帰ると言い出して驚きました。

大分二区の皆さんは山菜やジビエは普通にとどこでも食べているでしょうが、私は退職前十数年県外で生活していたため、山菜やジビエが贅沢に思え、今を楽しんでいます。

普通の田舎生活こそが贅沢だと考えています。



地区紹介

《由布地区》

地区後援会は、挾間・庄内・湯布院の三地域に支部を置き、それぞれ支部長を中心に日常の活動に取り組んでいます。

吉川議員による早朝立ち街宣活動、地区内有権者あいさつ回り、ミニ集会の実施により「吉川はじめ」の知名度を上げ、「吉川はじめ」の人となりをも多くの有権者に知ってもらうことが大切だと考えます。



2/26(月)

吉川の知名度アップ！ 会員増！



由布市は大分県のほぼ中央に位置し、大分川の源流域にあります。2005年10月1日、挾間と庄内町そして湯布院町が合併し「由布市」が誕生しました。観光と温泉の湯布院、豊かな自然と農業の庄内、商工業の挾間という豊かな個性があります。

由布地区後援会は、初代会長の江藤清志元県議の後を受け、現在二代目の藤川哲雄会長のもと、会員一同「選挙区における当選」に向け取り組んでいます。党所属の議員はいませんが、組織内議員である二ノ宮健治県議、佐藤郁夫市議、加藤裕二市議を擁しています。

当面の目標として、会員1000名の達成、女性会員の増加と女性の会結成に向けて取り組んでいます。

政治を身近に！

(若い世代がのぞむこと)

3月10日(日)に「吉川はじめと語る会」臼杵地区後援会女性の会を開催しました。20代から70代までの17人が参加し、吉川議員と意見交換をしました。この会に参加した20代の現職教員の声を紹介します。

「若い世代は政治に興味がない」と言われるけれど、「おもしろいな」とは感じている。でも、「政治は分かりにくい。政治に期待していないし、何を信じていいかわからない。」というのが正直な気持ちかもしれない。

今回、直接吉川議員から、予算の決まり方や会議の様子など詳しく話を聞くことができた。

政治は自分たちの生活に関係があって、伝わることで世の中を変えるきっかけになると気づいた。分からないから何もしなかったり、知らんぷりしたりしてはいけないと思った。政治へ関わっていくことは私たちの権利だし、選挙は大切だと実感した。

でも、より政治が身近になるように、若い世代がその時、その時に必要としている情報や権利について教えてほしい。

吉川はじめを囲む
臼杵地区女性の会 3/10(日)



【また、湯布院地域は、防衛力強化の部隊再編で湯布院駐屯地の拡大・拡充が24年、25年に実施される計画があります。…】長くなるので省略します。

年内には解散総選挙が実施されると思われれます。何としても「吉川はじめ」を大分二区選挙区で当選させるべく、全力を挙げて取り組んでいきたいと思えます。共に頑張りましょう!!



2/26(月)

時事川柳

- 裏金は 自由気ままに 銀座行き
- 今年こそ 行くぞJ1 トリニータ
- 年取るが ぐんぐんやる気が わいてくる
- 自民党 どんだけ悪いこと やっちゃうの
- 大谷の ホームランが 春を呼ぶ!!
- 議員なら 何をやっても 許される?



